

## 「生物・生態学」（生態学分野）レポートの課題

2019年7月22日

下に列挙した生態学に関係する書籍から、少なくとも1冊を図書館から借り出して（あるいは書店で購入して）初めから終わりまで読む。

レポートはパソコンのワープロソフトを使って印刷し、文字の大きさは10ポイント程度、フォントは明朝体（この文書の書体）とし、A4版1ページ以上書く。ただし、1ページの紙面を十分な字数で埋めてあり、指示に従ってきちんと書かれていれば、1ページで十分に満点の対象であり、無理に2ページ以上にする必要はない。2ページ以上になってしまったときは、紙を節約し、扱いやすくするために、両面印刷にする。

レポートは読みやすくするため、必ず数行～10行程度の段落に分けて書く。段落の最初の行の左端は、この文章と同様に、1文字分右へ下げる。

構成は次のとおりとする。内容の1. 要約、2. 意見・感想、3. 自分の考え、の3部分を、はっきりと区別できるように別の段落に分け、段落の最初に番号と章のタイトルを付ける。表紙を別につける必要はない。

タイトル：読んだ書籍の題名、著者、出版社

学籍番号と氏名：改行してタイトルの右下に書く。

レポートの内容：

1. 書籍の構成（箇条書きでなく、文章で説明する。レポート全体の1/3を越えないこと。）
2. 書籍の内容に対する自分の意見・感想

書籍の内容の一部に対してしか意見・感想を書いていないなど、書籍を初めから終わりまで読んだのかどうか疑わしいレポートは大幅減点とするので、必ず全部読んで、書籍の全体に対してレポートを書く。関連する他の書籍も加えて読んで比較することが望ましい。

3. 大学での勉強・卒業後の仕事に生態学の知識をどのように生かすか、自分が考えたこと

その書籍を読んで、あるいは他の書籍を加えて読んで、生態学の知識を大学での他の勉強、また、卒業後の土木技術者としての仕事（他学科の人はその職業）にどのように生かしたいと考えるか、自分が考えたことを書く。生物・生態学のこれまでの授業で学んだことを含めて書いても構わない。自分だけの利益となるよう生かすのではなく、社会のため（世のため人のため）に生かすことを考えることが望ましい。

文体は、常体（…だ。…である。）とする。敬体（…です。…ます。）を使ってはいけない。常体と敬体を混ぜて書いたレポートは受け付けない。

レポートは、6点満点で評価する。未提出者は定期試験の受験を許可しない（＝単位を出さない）。

提出期限：8月5日（月） 提出場所：内田の研究室（7号館318号室）の扉の郵便受  
（7月31日（水）「生物・生態学」の定期試験の返却時でもよい）

これらの書籍はすべて大学の附属図書館にある。左端の番号・記号は図書館の請求記号（本の背についているラベルの番号）である。大部分が図書館の2階、3階にあるが、一部は1階あるいは書庫などにある。どこにあるか、あるいは貸出中か、図書館ホームページで調べることができる。ただし、多くの本が貸し出されてしまった後は、この方法では調べるのに時間がかかるので、この文書を見ながら、図書館の書棚を請求記号順に歩いて探すことも勧める。

ここに列挙されていない生態学分野の書籍をレポートの対象にすることもできるが、必ず内田に事前に申し出て許可を得ること。先日「生物・生態学」（生物学分野）でレポートを課し、また2年後期「生態工学」でも同様のレポートを課すので、生態学関係の書籍と見えてもそちらの対象書籍となっていることがある。「生物・生態学」（生物学分野）・生態工学の対象書籍となっているときは、重複を避けるため、許可しない。それらの対象書籍は、次のウェブページの最下部のリンクをクリックして表示される文書に掲載されている。

- ・生物・生態学（生物学分野）<http://aitech.ac.jp/~s-uchida/syllabus-biology&ecology.htm>
- ・生態工学 <http://aitech.ac.jp/~s-uchida/syllabus-ecoleng.htm>

049|A「動物学がわかる」AERA Mook 22, 朝日新聞社

049|A「地理学がわかる」AERA Mook 48, 朝日新聞社

081|C「水と緑と土：伝統を捨てた社会の行方」富山和子著, 中公新書 348

081|C「日本の森林：国有林を荒廃させるもの」四手井綱英著, 中公新書 362

081|C「自然観察入門：草木虫魚とのつきあい」日浦勇著, 中公新書 389

081|C「新版 ガラパゴス諸島：「進化論」のふるさと」伊藤秀三著, 中公新書 690

081|C「カラスはどれほど賢いか：都市鳥の適応戦略」唐沢孝一著, 中公新書 877

081|C 「森林の生活：樹木と土壌の物質循環」堤利夫著，中公新書 943  
081|C 「日本の米：環境と文化はかく作られた」富山和子著，中公新書 1156  
081|C 「日本の樹木：都市化社会の生態誌」辻井達一著，中公新書 1238  
081|C 「ミミズのいる地球：大陸移動の生き証人」中村方子著，中公新書 1298  
081|C 「イワシの自然誌：「海の米」の生存戦略」平本紀久雄著，中公新書 1310  
081|C 「昆虫の誕生：一千万種への進化と分化」石川良輔著，中公新書 1327  
081|C 「トゲウオのいる川：淡水の生態系を守る」森誠一著，中公新書 1365  
081|C 「二酸化炭素と地球環境：利用と処理の可能性」大前巖著，中公新書 1505  
081|C 「南極発・地球環境レポート：異変観測の最前線から」斎藤清明著，中公新書 1519  
081|C 「オンドリは浮気をしないのか：鳥類学への招待」山岸哲著，中公新書 1628  
081|C 「虫たちの生き残り戦略」安富和男著，中公新書 1641  
081|C 「カエル：水辺の隣人」松井正文著，中公新書 1645  
081|C 「カラー版 極限に生きる植物」増沢武弘著，中公新書 1654  
081|C 「ふしぎの博物誌：動物・植物・地学の 32 話」河合雅雄編，中公新書 1680  
081|C 「モンシロチョウ：キャベツ畑の動物行動学」小原嘉明著，中公新書 1689  
081|C 「日本の魚：系図が明かす進化の謎」上野輝彌・坂本一男著，中公新書 1736  
081|C 「苔の話：小さな植物の知られざる生態」秋山弘之著，中公新書 1769  
081|C 「カラー版 フライフィッシング：溪流釣りの愉しみ」齋藤直樹著，中公新書 1785  
081|C 「続・日本の樹木：山の木、里の木、都会の木」辻井達一著，中公新書 1834, 2006.  
081|C 「照葉樹林文化とは何か：東アジアの森が生み出した文明」佐々木高明著，中公新書 1921, 2007.  
081|C 「サンゴとサンゴ礁のはなし：南の海のふしぎな生態系」本川達雄著，中公新書 1953, 2008.  
081|C 「カラー版 アマゾンの森と川を行く」高野潤著，中公新書 1969, 2008.  
081|C 「イワシはどこへ消えたのか：魚の危機とレジーム・シフト」本田良一著，中公新書 1991, 2009.  
081|C 「チンパンジー：ことばのない彼らが語ること」中村美知夫著，中公新書 1997, 2009.  
081|C 「カラー版 マチュピチュ：天空の聖殿」高野潤著，中公新書 2012, 2009.  
081|C 「イルカ：生態、六感、人との関わり」村山司著，中公新書 2018, 2009.  
081|C 「ヒマラヤ世界：五千年の文明と壊れゆく自然」向一陽著，中公新書 2026, 2009.  
081|C 「孫の力：誰もしたことの無い観察の記録」島泰三著，中公新書 2039, 2010.  
081|C 「物語 上野動物園の歴史：園長が語る動物たちの 140 年」小宮輝之著，中公新書 2063, 2010.  
081|C 「水と緑と土：伝統を捨てた社会の行方：改版」富山和子著，中公新書 348, 2010.  
081|C 「カラー版 パタゴニアを行く：世界でもっとも美しい大地」野村哲也著，中公新書 2092, 2011.  
081|D 「イヌ：どのようにして人間の友になったか」J.C.マクローリン著，同時代ライブラリー59，岩波書店  
081|D 「農業起源をたずねる旅：ニジェールからナイルへ」中尾佐助著，同時代ライブラリー150，岩波書店  
081|D 「動物行動学入門」P.J.B.スレーター著，同時代ライブラリー185，岩波書店  
081|D 「アユの話」宮地伝三郎著，同時代ライブラリー192，岩波書店  
081|D 「有限の生態学」栗原康著，同時代ライブラリー194，岩波書店  
081|D 「生物多様性：生命の豊かさを育むもの」堂本暁子著，同時代ライブラリー227，岩波書店  
081|D 「エコロジーとテクノロジー」栗原康著，同時代ライブラリー347，岩波書店  
081|I 「地球史」小嶋稔著，岩波新書 黄版 70  
081|I 「哺乳類」小原秀雄著，岩波新書 黄版 94  
081|I 「干潟は生きている」栗原康著，岩波新書 黄版 129  
081|I 「クモの不思議」吉倉真著，岩波新書 黄版 197  
081|I 「骨から見た日本人のルーツ」鈴木尚著，岩波新書 黄版 220  
081|I 「ミツバチの世界」坂上昭一著，岩波新書 黄版 238  
081|I 「森の不思議」神山恵三著，岩波新書 黄版 242  
081|I 「尾瀬：山小屋三代の記」後藤允著，岩波新書 黄版 263  
081|I 「イワナの謎を追う」石城謙吉著，岩波新書 黄版 272  
081|I 「サケ：つくる漁業への挑戦」佐藤重勝著，岩波新書 黄版 360  
081|I 「馬は語る：人間・家畜・自然」沢崎坦著，岩波新書 黄版 375  
081|I 「クマに会ったらどうするか：陸上動物学入門」玉手英夫著，岩波新書 黄版 377  
081|I 「都市の生態学」沼田真著，岩波新書 黄版 383  
081|I 「大地の微生物世界」服部勉著，岩波新書 黄版 390  
081|I 「地球環境報告」石弘之著，岩波新書 新赤版 33  
081|I 「日本列島の誕生」平朝彦著，岩波新書 新赤版 148  
081|I 「カブトガニの不思議：「生きている化石」は警告する」関口晃一著，岩波新書 新赤版 192  
081|I 「自然保護という思想」沼田真著，岩波新書 新赤版 327

081||I 「孤島の生物たち：ガラパゴスと小笠原」小野幹雄著，岩波新書 新赤版 354  
081||I 「発掘を科学する」田中琢・佐原真編，岩波新書 新赤版 355  
081||I 「ブナの森を楽しむ」西口親雄著，岩波新書 新赤版 443  
081||I 「極北シベリア」福田正己著，岩波新書 新赤版 481  
081||I 「日本の美林」井原俊一著，岩波新書 新赤版 516  
081||I 「森の自然学校」稲本正著，岩波新書 新赤版 535  
081||I 「山の自然学」小泉武栄著，岩波新書 新赤版 541  
081||I 「生命と地球の歴史」丸山茂徳・磯崎行雄著，岩波新書 新赤版 543  
081||I 「共生の生態学」栗原康著，岩波新書 新赤版 546  
081||I 「稲作の起源を探る」藤原宏志著，岩波新書 新赤版 554  
081||I 「シベリア動物誌：カラー版」福田俊司著，岩波新書 新赤版 587  
081||I 「地球環境報告 II」石弘之著，岩波新書 新赤版 592  
081||I 「日本の渚：失われゆく海辺の自然」加藤真著，岩波新書 新赤版 613  
081||I 「ダイビングの世界」須賀潮美著，岩波新書 新赤版 621  
081||I 「熱帯雨林」湯本貴和著，岩波新書 新赤版 624  
081||I 「ペンギンの世界」上田一生著，岩波新書 新赤版 743  
081||I 「環境考古学への招待：発掘からわかる食・トイレ・戦争」松井章著，岩波新書 新赤版 930  
081||I 「森の紳士録：ぼくの出会った生き物たち」池内紀著，岩波新書 新赤版 970  
081||I 「世界森林報告」山田勇著，岩波新書 新赤版 999  
081||I 「遺跡が語る日本人の暮らし」佐原真著，岩波ジュニア新書 234  
081||I 「ヒマラヤで考えたこと」小野有五著，岩波ジュニア新書 313  
081||I 「きらわれものの草の話：雑草と人間」松中昭一著，岩波ジュニア新書 321  
081||I 「役に立つ植物の話：栽培植物学入門」石井龍一著，岩波ジュニア新書 355  
081||I 「カラー版 里山を歩こう」今森光彦著，岩波ジュニア新書 402, 2002.  
081||I 「ゾウの歩んできた道」小原秀雄著，岩波ジュニア新書 412  
081||I 「縄文の暮らしを掘る」阿部芳郎著，岩波ジュニア新書 419  
081||I 「千石先生の動物ウォッチング：カラー版：ガラパゴスとマダガスカル」千石正一著，岩波ジュニア新書 424  
081||I 「釣りに行こう」藤井克彦著，岩波ジュニア新書 432  
081||I 「山の自然教室」小泉武栄著，岩波ジュニア新書 443  
081||I 「オランウータンの不思議社会」鈴木晃著，岩波ジュニア新書 448  
081||I 「ネアンデルタール人類のなぞ」奈良貴史著，岩波ジュニア新書 451  
081||I 「フィールドワークは楽しい」岩波書店編集部編，岩波ジュニア新書 474  
081||I 「生きものたちのシグナル」毎日新聞科学環境部著，岩波ジュニア新書 504  
081||I 「アマゾンで地球環境を考える」西沢利栄著，岩波ジュニア新書 516  
081||I 「ミジンコはすごい！」花里孝幸著，岩波ジュニア新書 532  
081||I 「よみがえる緑のシルクロード：環境史学のすすめ」佐藤洋一郎著，岩波ジュニア新書 535, 2006.  
081||I 「野生動物と共存できるか：保全生態学入門」高槻成紀著，岩波ジュニア新書 536  
081||I 「世界遺産・知床がわかる本」中川元著，岩波ジュニア新書 545, 2006.  
081||I 「砂漠化ってなんだろう」根本正之著，岩波ジュニア新書 546, 2007.  
081||I 「カラー版 海と親しもう：遊ぶ・観察する・学ぶ」伊藤勝敏著，岩波ジュニア新書 565, 2007.  
081||I 「大地と人を撮る：アンデスを歩きつづけて：カラー版」高野潤著，岩波ジュニア新書 584, 2008.  
081||I 「生きもの地図をつくらう」浜口哲一著，岩波ジュニア新書 585, 2008.  
081||I 「地図を楽しもう」山岡光治著，岩波ジュニア新書 593, 2008.  
081||I 「カラー版 里山を歩こう：わき水の里から琵琶湖へ」今森光彦著，岩波ジュニア新書 600, 2008.  
081||I 「海はゴミ箱じゃない！」眞淳平著，岩波ジュニア新書 601, 2008.  
081||I 「カラー版 屋久島：樹と水と岩の島を歩く」青山潤三著，岩波ジュニア新書 607, 2008.  
081||I 「考古学の挑戦：地中に問いかける歴史学」阿部芳郎編著，岩波ジュニア新書 657, 2010.  
081||I 「農は過去と未来をつなぐ：田んぼから考えたこと」宇根豊著，岩波ジュニア新書 662, 2010.  
081||I 「樹木ハカセになろう」石井誠治著，岩波ジュニア新書 677, 2011.  
081||I 「生物多様性と私たち：COP10 から未来へ」香坂玲著，岩波ジュニア新書 682, 2011.  
081||I 「さとやま：生物多様性と生態系模様」鷺谷いづみ著，岩波ジュニア新書 686, 2011.  
081||I 「信州花めぐりの旅：とっておきのスポット 23」増村征夫著，岩波アクティブ新書 35, 2002.  
081||I 「おとなの自然塾」ビーネイチャースクール編，岩波アクティブ新書 78, 2003.  
081||I 「本物を伝える日本のスローフード」金丸弘美著，岩波アクティブ新書 81, 2003.  
081||I 「「生物多様性」入門」鷺谷いづみ著，岩波ブックレット 785, 2010.  
081||K 「科学はこうして古代を解き明かす」山岸良二著，KAWADE 夢新書 S116

081||K「ホモ・サピエンスはどこから来たか」馬場悠男著, KAWADE 夢新書 S201  
081||M「アユと日本人」秋道智彌著, 丸善ライブラリー 61  
081||M「オロロン鳥：北のペンギン物語」寺沢孝毅著, 丸善ライブラリー 99  
081||M「森林破壊と地球環境」大石真人著, 丸善ライブラリー 178  
081||M「森との共生：持続可能な社会のために」藤森隆郎著, 丸善ライブラリー 322, 2000.  
081||M「環境考古学のすすめ」安田喜憲著, 丸善ライブラリー 349  
081||M「DNA 考古学のすすめ」佐藤洋一郎著, 丸善ライブラリー 355  
202||KK「年代を測る：放射性炭素法」木越邦彦著, 中公新書 496  
209||NS「現代文明ふたつの源流：照葉樹林文化・硬葉樹林文化」中尾佐助著, 朝日選書 110  
268||S「発掘：遺跡をして語らせる」曾野寿彦著, 中公新書 38  
289.1||I「楽しき挑戦：型破り生態学 50 年」伊藤嘉昭著, 海游舎  
291||T「水と緑の国、日本」富山和子著, 講談社, 1998.  
291.5||O「新・北アルプス博物誌：山と人と博物館」大町山岳博物館編, 信濃毎日新聞社, 2001.  
361.7||J「人類生態学」大塚柳太郎ほか著, 東京大学出版会  
361.7||S「人類生態学の方法」鈴木継美著, UP 選書 213, 東京大学出版会  
389||S「民族動物学：アジアのフィールドから」周達生著, 東京大学出版会  
402||K「日本列島の自然史」国立科学博物館編, 東海大学出版会  
402.91||I「中央アルプスと伊那谷の自然」伊那谷自然教育研究会著, 信濃毎日新聞社, 1993.  
402.91||T「白馬の自然」土田勝義編著, 信濃毎日新聞社, 1994.  
447.3||M「再現! 巨大隕石衝突: 6500 万年前の謎を解く」松井孝典著, 岩波書店, 2009.  
451.85||M「気候変動で読む地球史：限界地帯の自然と植生から」水野一晴著, NHK ブックス 1240, 2016.  
452||D「ダム湖の陸水学」Kent W. Thornton, Bruce L. Kimmel, Forrest E. Payne 編; 伊佐治知明 [ほか] 訳, 生物研究社  
452||M「川に親しむ」松浦秀俊著, 岩波ジュニア新書 353  
452||S「里湖(さとうみ)モク採り物語：50 年前の水面下の世界」平塚純一, 山室真澄, 石飛祐 著, 生物研究社  
452||T「海は生きている」富山和子著, 講談社, 2009.  
454||K「山の自然学入門」小泉武栄・清水長正編, 古今書院  
454||K「日本の山はなぜ美しい：山の自然学への招待」小泉武栄著, 古今書院  
454.5||S「山に学ぶ 山と生きる」信州大学山岳科学総合研究所編, 信濃毎日新聞社, 2003.  
456.8||N「地球史が語る近未来の環境」日本第四紀学会編, 東京大学出版会, 2007.  
457||I「太古の海の記憶：オストラコーダの自然史」池谷仙之・阿部勝巳著, 東京大学出版会  
457||I「進化古生物学入門：甲殻類の進化を追う」池谷仙之, 山口寿之著, UP biology 93, 東京大学出版会  
457||K「象のきた道」亀井節夫著, 中公新書 514  
457||M「恐竜を追った人びと」クリストファー・マガウワン著; 高柳洋吉訳, 古今書院, 2004.  
457||O「フィールド古生物学: 進化の足跡を化石から読み解く」大路樹生著, 東京大学出版会, 2009.  
457||U「クビナガリュウ発見!: 伝説のサラリーマン化石ハンターが伝授する化石採集のコツ」宇都宮聡著, 築地書館  
457||Y「化石の記憶: 古生物学の歴史をさかのぼる」矢島道子著, 東京大学出版会, 2008.  
457||Z「絶滅した哺乳類たち」富田幸光文; 伊藤丙雄・岡本泰子イラスト, 丸善  
460||F「あなたの生物学」カール・フォン・フリッシュ著, 図鑑の北隆館 (上・下 2 冊で 1 冊扱い)  
460.4||P「森の「いろいろ事情がありまして」」ピッキオ編著, 信濃毎日新聞社, 2007.  
460.7||Z「土と林の生きものたち」全国学校ビオトープ・ネットワーク編, 合同出版, 2002.  
460.7||Z「街と里山の生きものたち」全国学校ビオトープ・ネットワーク編, 合同出版, 2002.  
460.7||Z「水とビオトープの生きものたち」全国学校ビオトープ・ネットワーク編, 合同出版, 2002.  
462||H「フクロウとタヌキ：里の自然に生きる」波多野鷹, 金子弥生著, 現代日本生物誌 3, 岩波書店  
462||H「マツとシイ：森の栄枯盛衰」原田洋, 磯谷達宏著, 現代日本生物誌 6, 岩波書店  
462||H「マングースとハルジオン：移入生物とのたたかい」服部正策, 伊藤一幸著, 現代日本生物誌 11, 岩波書店  
462||I「イネとスギ：国土の自然をつくりかえた植物」稲村達也, 中川重年著, 現代日本生物誌 7, 岩波書店  
462||K「カラスとネズミ：ヒトと動物の知恵比べ」川内博, 遠藤秀紀著, 現代日本生物誌 1, 岩波書店  
462||K「サンゴとマングローブ：生物が環境をつくる」茅根創, 宮城豊彦著, 現代日本生物誌 12, 岩波書店  
462||O「タンポポとカワラノギク：人工化と植物の生きのび戦略」小川潔, 倉本宣著, 現代日本生物誌 5, 岩波書店  
462||O「ツバキとサクラ：海外に進出する植物たち」大場秀章, 秋山忍著, 現代日本生物誌 8, 岩波書店  
462||O「ネコとタケ：手なずけた自然にひそむ野生」小方宗次, 柴田昌三著, 現代日本生物誌 9, 岩波書店  
462||S「メダカとヨシ：水辺の健康度をはかる生き物」佐原雄二, 細見正明著, 現代日本生物誌 10, 岩波書店  
462||S「有明海の生きものたち：干潟・河口域の生物多様性」佐藤正典編, 海游舎  
462||T「人と生き物の地理 改訂版」高橋春成著, 古今書院, 2010.  
462||Y「ホテルとサケ：とりもどす自然のシンボル」遊磨正秀, 生田和正著, 現代日本生物誌 2, 岩波書店  
462||Y「イルカとウミガメ：海を旅する動物のいま」吉岡基, 亀崎直樹著, 現代日本生物誌 4, 岩波書店

- 462.13|O「開発の中の生物たち」小田柿進二著, 農山漁村文化協会
- 462.15|M「希少種はいま」増田今雄著, 信濃毎日新聞社, 2010.
- 462.15|N「千曲川の自然」中村浩志編著, 信濃毎日新聞社, 1999.
- 462.15|O「洪水がつくる川の自然」沖野外輝夫・河川生態学術研究会千曲川研究グループ著, 信濃毎日新聞社, 2006.
- 462.15|T「安曇野の自然」土田勝義編著, 信濃毎日新聞社, 1996.
- 462.19|R「美ら島の自然史」琉球大学 21 世紀 COE プログラム編集委員会編, 東海大学出版会, 2006.
- 462.19|U「有明海の自然と再生」宇野木早苗著, 築地書館, 2006.
- 462.19|Y「琉球列島: 生物の多様性と列島のおいたち」安間繁樹著, 東海大学出版会, 2001.
- 462.19|Y「南の島の自然誌: 沖縄と小笠原の海洋生物研究のフィールドから」矢野和成編著, 東海大学出版会, 2005.
- 462.23|Y「熱帯雨林の自然史: 東南アジアのフィールドから」安田雅俊ほか著, 東海大学出版会, 2008.
- 465|H「微生物生態入門」服部勉著, UP biology 32, 東京大学出版会, 1990.
- 467.5|A「生物系統地理学: 種の進化を探る」ジョン・C・エイビス著, 東京大学出版会, 2008.
- 467.5|K「多様性生物学入門: ヒトへの道程」栗田子郎著, 東海大学出版会, 1997.
- 467.5|T「絵でわかる進化論」徳永幸彦著, 講談社, 2001.
- 468|G「群集生態学の現在」佐藤宏明・山本智子・安田弘法編著, 京都大学学術出版会
- 468|H「生物多様性はなぜ大切か?」日高敏隆編, 昭和堂
- 468|H「自然はそんなにヤワじゃない: 誤解だらけの生態系」花里孝幸著, 新潮社, 2009.
- 468|H「環境生物学: 地球の環境を守るには」針山孝彦・津田基之著, 共立出版, 2010.
- 468|I「移入・外来・侵入種: 生物多様性を脅かすもの」川道美枝子, 岩槻邦男, 堂本暁子編, 築地書館
- 468|I「温暖化と生物多様性」岩槻邦男, 堂本暁子編, 築地書館, 2008.
- 468|K「環境変動と生物集団」河野昭一・井村治共編, 海游舎
- 468|K「いのちのつながり: よく分かる生物多様性」香坂玲著, 中日新聞社, 2009.
- 468|K「生物の多様性ってなんだろう?」京都大学総合博物館, 京都大学生態学研究センター編, 京都大学学術出版会
- 468|K「生態学の「大きな」話」川那部浩哉著, 農山漁村文化協会
- 468|K「曖昧の生態学」川那部浩哉著, 農山漁村文化協会
- 468|K「偏見の生態学」川那部浩哉著, 農山漁村文化協会
- 468|M「環境を診断する: 五感による生態学」森下郁子著, 中公新書 614
- 468|M「川と湖の博物館 4. 水環境カルテ」森下依理子著, 山海堂, 1996.
- 468|M「川と湖の博物館 5. バイオロードの生物」森下郁子・森下依理子著, 山海堂, 1992.
- 468|M「川と湖の博物館 6. 生物現象の知見: 淀川と琵琶湖」森下郁子編著, 山海堂, 1994.
- 468|M「川と湖の博物館 7. 霞ヶ浦と利根川」森下郁子編著, 山海堂, 1995.
- 468|M「群集生態学」宮下直・野田隆史著, 東京大学出版会
- 468|M「環境生態学序説」松田裕之著, 共立出版
- 468|M「水田を守るとはどういうことか: 生物相の視点から」守山弘著, 農山漁村文化協会
- 468|M「保全生態学の挑戦: 空間と時間のとらえ方」宮下直・西廣淳編, 東京大学出版会, 2015.
- 468|N「現代生態学とその周辺」沼田眞編, 東海大学出版会
- 468|N「生態学入門」日本生態学会編, 東京化学同人, 2004.
- 468|N「生態学入門」日本生態学会編, 第2版, 東京化学同人, 2012.
- 468|N「外来生物: 生物多様性と人間社会への影響」西川潮・宮下直編著, 裳華房, 2011.
- 468|N「生きものの数の不思議を解き明かす」日本生態学会編, 文一総合出版, 2009.
- 468|N「地球からのおくりもの: 生物多様性を理解するために」名古屋大学大学院環境学研究科しんきん環境事業イノベーション寄付講座編, 風媒社, 2011.
- 468|N「生物のつながりを見つめよう: 地球の豊かさを考える生態学」日本生態学会編, 文一総合出版, 2012.
- 468|O「基礎生態学」E. P. オダム著 三島次郎訳, 培風館, 1991.
- 468|O「生物多様性科学のすすめ: 生態学からのアプローチ」大串隆之編, 丸善
- 468|O「対論 多様性と関係性の生態学」小原秀雄ほか著, 農山漁村文化協会
- 468|P「保全生物学のすすめ」リチャード B. プリマック, 小堀洋美著, 文一総合出版, 1997.
- 468|P「保全生物学のすすめ」リチャード B. プリマック, 小堀洋美著, 改訂版, 文一総合出版, 2008.
- 468|S「生態学へのまなざし」鷺谷いつみ・武内和彦・西田睦著, 東京大学出版会
- 468|S「侵入と伝播の数理生態学」重定南奈子著, UP biology 92, 東京大学出版会
- 468|S「集団と生態」森主一ほか著, 朝倉書店
- 468|S「外来生物の生態学: 進化する脅威とその対策」種生物学会編, 文一総合出版, 2010.
- 468|T「生物多様性という名の革命」デヴィッド・タカーチ著; 狩野秀之ほか訳, 日経 BP 社
- 468|T「地球環境と生態系: 陸域生態系の科学」武田博清・占部城太郎編集, 共立出版
- 468|W「保全生態学の技法: 調査・研究・実践マニュアル」鷺谷いつみ ほか編, 東京大学出版会, 2010.
- 468|W「絵でわかる生態系のしくみ」鷺谷いつみ著; 後藤章絵, 講談社, 2008.

468||W「絵でわかる生物多様性」鷺谷いづみ著; 後藤章絵, 講談社, 2017.

468||W「大学1年生のなっとく! 生態学」鷺谷いづみ著, 講談社, 2017.

468||Y「保全生態学入門: 遺伝子から景観まで: 生物多様性を守るために」鷺谷いづみ, 矢原徹一著, 文一総合出版

468.04||N「地球環境問題に挑む生態学」日本生態学会編; 仲岡雅裕責任編集, 文一総合出版, 2011.

468.4||A「コンピュータで学ぶ応用個体群生態学: 希少生物の保全をめざして」アクチャカヤ他著, 文一総合出版, 2002.

468.4||H「群集生態学: 生物多様性学と生物地理学の統一中立理論」S. P. Hubbell 著; 平尾聡秀他訳, 文一総合出版, 2009.

468.4||M「ファイトテルマータ: 生物多様性を支える小さなすみ場所」茂木幹義著, 海游舎, 1999.

468.4||M「群集生態学」宮下直, 野田隆史著, 東京大学出版会, 2003.

468.4||O「進化生物学からせまる」大串隆之他編, シリーズ群集生態学2, 京都大学学術出版会, 2009.

468.4||O「生物間ネットワークを紐とく」大串隆之他編, シリーズ群集生態学3, 京都大学学術出版会, 2009.

468.4||O「生態系と群集をむすぶ」大串隆之他編, シリーズ群集生態学4, 京都大学学術出版会, 2008.

468.4||O「メタ群集と空間スケール」大串隆之他編, シリーズ群集生態学5, 京都大学学術出版会, 2008.

468.4||O「新たな保全と管理を考える」大串隆之他編, シリーズ群集生態学6, 京都大学学術出版会, 2009.

468.4||S「群集生態学の現在」佐藤宏明, 山本智子, 安田弘法編著, 京都大学学術出版会, 2001.

468.5||N「にほんのいきもの暦」日本生態系協会著, KTC 中央出版, 2009.

468.8||K「海洋生物の連鎖: 生命は海でどう連鎖しているか」木暮一啓編, 東海大学出版会, 2006.

468.8||N「海の外来生物」日本プランクトン学会・日本ベントス学会編, 東海大学出版会, 2009.

468.8||R「潮間帯の生態学(上・下)」ラファエリ, ホーキンズ著, 文一総合出版, 1999.(上・下2冊で1冊とみなす)

468.8||T「海洋生物の機能: 生命は海にどう適応しているか」竹井祥郎編, 東海大学出版会, 2005.

469||K「人類生態学ノート」勝沼晴雄・鈴木継美編, UP 選書 59, 東京大学出版会

470||N「生態学からみた身近な植物群落の保護」日本自然保護協会編, 講談社

470.38||K「日本の固有植物」加藤雅啓, 海老原淳編, 東海大学出版会, 2011.

471||K「大雪山のお花畑が語ること: 高山植物と雪渓の生態学」工藤岳著, 京都大学学術出版会

471||K「高山植物の自然史: お花畑の生態学」工藤岳編著, 北海道大学図書刊行会

471||K「地形植生誌」菊池多賀夫著, 東京大学出版会

471||M「高山植物の生態学」増沢武弘著, 東京大学出版会

471||S「光と水と植物のかたち: 植物生理生態学入門」種生物学会編, 文一総合出版, 2003.

471||T「環境植物学」田崎忠良編著, 朝倉書店, 1978.

471.3||W「花はなぜ咲くのか?」鷺谷いづみ文; 埴沙萌, 田中肇写真, 山と溪谷社, 2007.

471.7||O「植物の生活史と繁殖生態学」大原雅著, 海游舎, 2010.

471.7||O「植物生態学」大原雅著, 海游舎, 2015.

471.71||H「環境と植生30講」服部保著, 朝倉書店, 2011.

471.71||T「しなの帰化植物図鑑」土田勝義, 横内文人著, 信濃毎日新聞社, 2007.

471.72||M「高山植物学: 高山環境と植物の総合科学」増沢武弘編著, 共立出版, 2009.

472||M「緑環境と植生学: 鎮守の森を地球の森に」宮脇昭著, NTT 出版

472.1||N「植物群落モニタリングのすすめ」日本自然保護協会編, 文一総合出版, 2005.

472.1||O「森と草原の歴史: 日本の植生景観はどのように移り変わってきたのか」小椋純一著, 古今書院, 2012.

472.1||Y「日本の植生: 侵略と攪乱の生態学」矢野悟道編, 東海大学出版会, 1988.

479.34||M「野生イネの自然史: 実りの進化生態学」森島啓子編著, 北海道大学図書刊行会, 2003.

479.78||S「ニセアカシアの生態学: 外来樹の歴史・利用・生態とその管理」崎尾均編, 文一総合出版, 2009.

479.92||W「サクラソウの目: 保全生態学とは何か」鷺谷いづみ著, 地人書館, 1998.

480.4||K「昆虫少年の博物誌: 水棲昆虫とともに」川合禎次著, 東海大学出版会, 2003.

480.7||N「アシカ語を話せる素質」中村元著, 海游舎

481||D「動物生態学」嶋田正和・山村則男・粕谷英一・伊藤嘉昭著, 海游舎

481||H「保全生物学」樋口広芳編, 東京大学出版会

481||T「個体群と環境: 虫を通してみる生活の多様性」高橋史樹著, UP biology 48, 東京大学出版会

481||W「干潟の自然史: 砂と泥に生きる動物たち」和田恵次著, 京都大学学術出版会

481.7||I「動物の社会: 社会生物学・行動生態学入門」伊藤嘉昭著, 新版, 東海大学出版会, 2006.

481.71||I「動物社会における共同と攻撃」伊藤嘉昭編, 東海大学出版会, 1992.

481.71||N「フィールドの寄生虫学: 水族寄生虫学の最前線」長澤和也編著, 東海大学出版会, 2004.

481.72||K「天草の渚: 浅海性ベントスの生態学」菊池泰二編, 東海大学出版会, 2006.

481.72||M「海洋生物ガイドブック」益田一著, 東海大学出版会, 1999.

481.72||N「海洋ベントスの生態学」日本ベントス学会編; 和田恵次責任編集, 東海大学出版会, 2003.

481.76||K「土壌生態学入門: 土壌動物の多様性と機能」金子信博著, 東海大学出版会

481.76||M「写真で見る小さな生きものの不思議: 土壌動物の世界」皆越ようせい著, 平凡社, 2013.

481.76||N「土壌動物学への招待: 採集からデータ解析まで」日本土壌動物学会編, 東海大学出版会

- 481.76|T「トビムシの住む森：土壤動物から見た森林生態系」武田博清著，京都大学学術出版会，2002.
- 481.76|W「土のなかの奇妙な生きもの」渡辺弘之著，築地書館
- 481.78|K「先生、キジがヤギに縄張り宣言しています！」小林朋道著，築地書館
- 481.78|K「先生、カエルが脱皮してその皮を食べています！」小林朋道著，築地書館
- 481.8|M「動物分類学」松浦啓一著，東京大学出版会，2009.
- 462|K「島の生物学：動物の地理的分布と集団現象」木元新作著，東海大学出版会，1998.
- 482|S「里山生きもの博物記」荘司たか志 写真と文，山と溪谷社
- 482.1|K「動物たちの反乱：増えすぎるシカ、人里へ出るクマ」河合雅雄，林良博編著，PHP 研究所，2009.
- 483|O「水棲無脊椎動物の最新学」奥谷喬司，太田秀，上島励編，東海大学出版会，1999.
- 483|Y「サンゴの生物学」山里清著，UP biology 77，東京大学出版会
- 483.93|W「ミミズ：嫌われものはたらきもの」渡辺弘之著，東海大学出版会，2003.
- 484|I「貝のパラダイス：磯の貝たちの行動と生態」岩崎敬二著，東海大学出版会，1999.
- 484|O「軟体動物二十面相」奥谷喬司著，東海大学出版会，2003.
- 485|A「ダニの生物学」青木淳一編，東京大学出版会
- 485|K「新版 日本の有害節足動物：生態と環境変化に伴う変遷」加納六郎，篠永哲著，東海大学出版会，2003.
- 485|K「ザリガニ：ニホン・アメリカ・ウチダ」川井唯史著，岩波書店，2009.
- 485|M「クモの生物学」宮下直編，東京大学出版会
- 485.3|A「甲殻類学：エビ・カニとその仲間の世界」朝倉彰編著，東海大学出版会，2003.
- 485.3|K「ザリガニの博物誌：里川学入門」川井唯史著，東海大学出版会，2007.
- 485.3|N「カイアシ類学入門：水中の小さな巨人たちの世界」長澤和也編著，東海大学出版会，2005.
- 485.77|A「都市化とダニ：コンクリート建造物のコケに生息するササラダニ類」青木淳一著，東海大学出版会，2000.
- 485.77|S「ミクロの社会生態学：ダニから動物社会を考える」齋藤裕著，京都大学学術出版会，1999.
- 485.8|T「多足類読本：ムカデとヤスデの生物学」田辺力著，東海大学出版会，2001.
- 486|A「シロアリの生態：熱帯の生態学入門」安部琢哉著，UP biology 87，東京大学出版会
- 486|H「チョウの生物学」本田計一・加藤義臣編，東京大学出版会
- 486|K「環境昆虫学：行動・生理・化学生態」本田計一・本田洋・田付貞洋編，東京大学出版会
- 486|K「北海道の地表性歩行虫類：その生物環境学的アプローチ」木元新作，保田信紀著，東海大学出版会，1995.
- 486|N「虫たちがいて、ぼくがいた：昆虫と甲殻類の行動」中嶋康裕・沼田英治共編，海游舎
- 486|O「kupu-kupuの楽園：熱帯の里山とチョウの多様性」大串龍一著，海游舎
- 486|O「スズメバチの科学」小野正人著，海游舎
- 486|O「蝶の自然史：行動と生態の進化学」大崎直太編著，北海道大学図書刊行会
- 486|S「ニホンミツバチ：北限の *Apis cerana*」佐々木正己著，海游舎
- 486|S「庭にきた虫：いのちのドラマを親子でみる」佐藤信治著，農山漁村文化協会
- 486|T「トンボの里：アカトンボにみる谷戸の自然」田口正男著，信山社サイテック，1997.
- 486|Y「ユスリカの世界」近藤繁生ほか編，培風館，2001.
- 486.1|K「虫をとおして森をみる：熱帯雨林の昆虫の多様性」岸本圭子著，東海大学出版会，2010.
- 486.1|O「水生昆虫の世界：淡水と陸上をつなぐ生命」大串龍一著，東海大学出版会，2004.
- 486.1|S「樹の中の虫の不思議な生活：穿孔性昆虫研究への招待」柴田叡弼，富樫一巳編著，東海大学出版会
- 486.39|C「トンボ博物学：行動と生態の多様性」P.S. Corbet 著；椿宜高ほか監訳，海游舎，2007.
- 486.4|O「鳴く虫セレクション」大阪市立自然史博物館，大阪自然史センター編著，東海大学出版会，2008.
- 486.6|M「森と水辺の甲虫誌」丸山宗利編著，東海大学出版会
- 486.6|O「ホタルの木」大場信義著，どうぶつ社，2003.
- 486.6|O「ホタルの不思議」大場信義著，どうぶつ社，2009.
- 486.6|S「日本の甲虫：その起源と種分化をめぐって」佐藤正孝編，東海大学出版会，1988.
- 486.6|S「オサムシの春夏秋冬：生活史の進化と種多様性」曾田貞滋著，京都大学学術出版会，2000.
- 486.8|I「琉球の蝶：ツマグロヒョウモンの北進と擬態の謎にせまる」伊藤嘉昭著，東海大学出版会，2009.
- 486.8|K「オオムラサキ：日本の里山と国蝶の生活史」栗田貞多男著，信濃毎日新聞社，2007.
- 486.8|K「庭のイモムシ ケムシ」川上洋一文・構成 みんなで作る日本産蛾類図鑑編，東京堂出版，2011.
- 486.9|M「蚊の不思議：多様性生物学」宮城一郎編著，東海大学出版会，2002.
- 486.9|N「図説 日本のユスリカ」日本ユスリカ研究会編，文一総合出版，2010.
- 487|H「ブラックバスを退治する：シナイモツゴ郷の会からのメッセージ」細谷和海，高橋清孝編，恒星社厚生閣
- 487|K「カジカ類の多様性：適応と進化」宗原弘幸・後藤晃・矢部衛編著，東海大学出版会
- 487|M「トゲウオ、出会いのエソロジー：行動学から社会学へ」森誠一著，地人書館
- 487|M「のぞいて見よう海の中：魚の行動ウォッチング」ジャック・T・モイヤー著，海游舎
- 487|S「魅せる日本の両生類・爬虫類」関慎太郎著，緑書房
- 487|T「サメの自然史」谷内透著，東京大学出版会

- 487.5|M 「日本の外来魚ガイド」 松沢陽士写真・図鑑執筆; 瀬能宏監修・解説執筆, 文一総合出版, 2008.
- 487.51|G 「魚類の繁殖行動: その様式と戦略をめぐって」 後藤晃, 前川光司編, 東海大学出版会, 1989.
- 487.51|M 「さかなの街: 社会行動と産卵生態」 ジャック T.モイヤー, 中村宏治共著, 東海大学出版会, 1994.
- 487.51|S 「魚類環境生態学入門」 猿渡敏郎編著, 東海大学出版会, 2006.
- 487.52|K 「希少淡水魚の現在と未来: 積極的保全のシナリオ」 片野修, 森誠一監修・編, 信山社, 2005.
- 487.52|K 「南極の自然史: ノトセニア魚類の世界から」 川口弘一著, 東海大学出版会, 2005.
- 487.52|N 「干潟の海に生きる魚たち: 有明海の豊かさと危機」 日本魚類学会自然保護委員会編, 東海大学出版会, 2009.
- 488|K 「メジロの眼: 行動・生態・進化のしくみ」 橘川次郎著, 海游舎
- 488|N 「エナガの群れ社会」 中村登流著, 信濃毎日新聞社, 1991.
- 488.1|A 「鳥学大全」 秋篠宮文仁・西野嘉章編, 東京大学出版会, 2008.
- 488.1|K 「日本鳥の巣図鑑: 小海途銀次郎コレクション」 小海途銀次郎, 和田岳著, 東海大学出版会, 2011.
- 488.4|O 「ライチョウ: 生活と飼育への挑戦」 大町山岳博物館編, 信濃毎日新聞社, 1992.
- 488.7|W 「イヌワシの生態と保全」 ジェフ・ワトソン著; 山岸哲, 浅井芝樹共訳, 文一総合出版, 2006.
- 489|H 「ハシナガイルカの行動と生態」 ケネス・S・ノリスほか著, 海游舎
- 489|H 「哺乳類の生態学」 土肥昭夫ほか著, 東京大学出版会
- 489|K 「哺乳類の生物学1 分類」 金子之史著, 東京大学出版会
- 489|K 「新版 鯨とイルカのフィールドガイド」 笠松不二男・宮下富夫・吉岡基著, 東京大学出版会, 2009.
- 489|K 「ネズミの分類学: 生物地理学の視点」 金子之史著, 東京大学出版会
- 489|M 「御蔵島のイルカ」 ジャック T.モイヤー著, 海游舎
- 489|M 「日本コウモリ研究誌: 翼手類の自然史」 前田喜四雄著, 東京大学出版会
- 489|M 「哺乳類の生物学4 社会」 三浦慎悟著, 東京大学出版会
- 489|O 「日本野生動物記」 小原秀雄著, 自然選書, 中央公論社
- 489|T 「哺乳類の生物学5 生態」 高槻成紀著, 東京大学出版会
- 489|T 「シカの生態誌」 高槻成紀著, 東京大学出版会
- 489|T 「冬眠する哺乳類」 川道武男・近藤宣昭・森田哲夫編, 東京大学出版会
- 489|W 「鰭脚類: アシカ・アザラシの自然史」 和田一雄・伊藤徹魯著, 東京大学出版会
- 489.02|M 「熱帯アジア動物記: フィールド野生動物学入門」 松林尚志著, 東海大学出版会, 2009.
- 489.02|N 「日本の哺乳類学1 小型哺乳類」 本川雅治編, 東京大学出版会, 2008.
- 489.02|N 「日本の哺乳類学2 中大型哺乳類・霊長類」 高槻成紀・山極寿一編, 東京大学出版会, 2008.
- 489.02|N 「日本の哺乳類学3 水生哺乳類」 加藤秀弘編, 東京大学出版会, 2008.
- 489.02|Y 「日本の外来哺乳類: 管理戦略と生態系保全」 山田文雄・池田透・小倉剛編, 東京大学出版会, 2011.
- 489.47|N 「日本のヤマネ 改訂版」 中島福男著, 信濃毎日新聞社, 2006.
- 489.47|Y 「ハダカデバネズミ: 女王・兵隊・ふとん係」 吉田重人・岡ノ谷一夫著, 岩波書店, 2008.
- 489.56|M 「オオカミが日本を救う!: 生態系での役割と復活の必要性」 丸山直樹編著, 白水社, 2014.
- 489.58|A 「ニホンカワウソ: 絶滅に学ぶ保全生物学」 安藤元一著, 東京大学出版会, 2008.
- 489.59|O 「トドの回遊生態と保全」 大泰司紀之, 和田一雄編著, 東海大学出版会, 1999.
- 489.59|W 「ゼニガタアザラシの生態と保護」 和田一雄ほか編, 東海大学出版会, 1986.
- 489.67|T 「ジュゴン: 海草帯からのメッセージ」 土屋誠, カンジャンナ・アドゥンヤヌコソン監修, 東海大学出版会, 2010.
- 489.8|K 「野生馬を追う: ウマのフィールド・サイエンス」 木村李花子著, 東京大学出版会, 2007.
- 489.83|T 「イノシシと人間: 共に生きる」 高橋春成編, 古今書院, 2001.
- 489.9|W 「サルはどのように冬を越すか: 野生ニホンザルの生態と保護」 和田一雄著, 農山漁村文化協会
- 489.95|M 「人とサルの社会史」 三戸幸久, 渡邊邦夫著, 東海大学出版会, 1999.
- 489.95|N 「食べる速さの生態学: サルたちの採食戦略」 中川尚史著, 京都大学学術出版会, 1999.
- 489.95|N 「サバンナを駆けるサル: パタスモンキーの生態と社会」 中川尚史著, 京都大学学術出版会, 2007.
- 489.95|O 「ニホンザルの自然誌: その生態的多様性と保全」 大井徹, 増井憲一編著, 東海大学出版会, 2002.
- 489.95|W 「中国サル学紀行: 黄山に暮らす」 和田一雄著, 東海大学出版会, 1996.
- 517|M 「魚から見た水環境: 復元生態学に向けて/河川編」 森誠一監修・編集, 自然復元特集4, 信山社サイテック
- 517|M 「淡水生物の保全生態学: 復元生態学に向けて」 森誠一編著, 自然復元特集5, 信山社サイテック
- 517|T 「川は生きている」 富山和子著, 講談社, 1994.
- 519|I 「生物多様性とその保全」 井上民二, 和田英太郎編, 岩波講座地球環境学, 岩波書店
- 519|R 「リモートセンシングからみた地球環境の保全と開発」 村井俊治・宮脇昭・柴崎亮介編, 東京大学出版会
- 519.1|N 「流域環境評価と安定同位体: 水循環から生態系まで」 永田俊・宮島利宏編, 京都大学学術出版会, 2008.
- 519.4|O 「地球の環境と水: 大気汚染と水質汚濁」 大山銀四郎著, 信山社サイテック
- 519.8|B 「サケ多摩川に帰る: ひろがる自然教育」 馬場錬成著, 農山漁村文化協会
- 519.8|D 「温暖化に追われる生き物たち: 生物多様性からの視点」 堂本暁子・岩槻邦男編, 築地書館
- 519.8|H 「里山の生態学: その成り立ちと保全のあり方」 広木詔三編, 名古屋大学出版会

- 519.8||H「雑木林へようこそ!：里山の自然を守る」広井敏男著，新日本出版社
- 519.8||K「ふるさといきものこの里100選」環境庁自然保護局監修，ぎょうせい，1989.
- 519.8||K「環境保全学の理論と実践I」森誠一監修・編集，信山社サイテック
- 519.8||K「環境保全学の理論と実践II」森誠一監修・編集，信山社サイテック
- 519.8||K「環境保全学の理論と実践III」森誠一監修・編集，信山社サイテック
- 519.8||K「環境保全学の理論と実践IV」森誠一監修・編集，信山社サイテック
- 519.8||K「だれが大地を壊したか：幻影の苦小牧開発」近藤泰年著，農山漁村文化協会
- 519.8||M「なぜ生態系を守るのか?」松田裕之著，NTT出版，2008.
- 519.8||N「生態学からみた自然保護地域とその多様性保全」日本自然保護協会編集，講談社
- 519.8||N「生態学からみた里やまの自然と保護」日本自然保護協会編集，講談社
- 519.8||N「生態学からみた野生生物の保護と法律」日本自然保護協会編集，講談社，2003.
- 519.8||N「野生生物の保護はなぜ必要か」日本弁護士連合会公害対策・環境保全委員会編，信山社出版
- 519.8||N「里やま自然誌：谷津田からみた人・自然・文化のエコロジー」中村俊彦著，マルモ出版，2004.
- 519.8||N「なぜ地球の生きものを守るのか」日本生態学会編，文一総合出版，2010.
- 519.8||P「保全生物学：生物多様性のための科学と実践」Andrew S. Pullin 著，丸善
- 519.8||S「野生生物保全技術」佐藤正孝，新里達也共編，海游舎
- 519.8||S「里山の環境学」武内和彦・鷺谷いづみ・恒川篤史編，東京大学出版会
- 519.8||S「里山の自然をまもる」石井実・植田邦彦・重松敏則著，築地書館
- 519.8||U「生態環境リスクマネジメントの基礎：生態系をなぜ、どうやって守るのか」浦野紘平，松田裕之編，オーム社
- 519.8||Y「自然保護：その生態学と社会学」吉田正人著，地人書館
- 519.8||Y「だれが干潟を守ったか：有明海に生きる漁民と生物」山下弘文著，農山漁村文化協会
- 610.1||Y「文明は農業で動く：歴史を変える古代農法の謎」吉田太郎著，築地書館
- 610.4||A「自然産業の世紀」アミタ持続可能経済研究所著，創森社
- 610.8||N「照葉樹林文化論」中尾佐助著，中尾佐助著作集 第6巻，北海道大学出版会
- 613||H「土壌微生物生態学」堀越孝雄・二井一禎編著，朝倉書店，2003.
- 613||I「土は生命の源」岩田進午著，創森社
- 613||K「土壌圏と地球温暖化」木村真人・波多野隆介編，名古屋大学出版会
- 613||N「ミミズと土と有機農業：The earthworm book」中村好男著，創森社
- 615||I「虫を放して虫を滅ぼす：沖縄・ウリミバエ根絶作戦私記」伊藤嘉昭著，中公新書 570
- 615||K「「ただの虫」を無視しない農業：生物多様性管理」桐谷圭治著，築地書館
- 615||K「害虫はなぜ生まれたのか：農薬以前から有機農業まで」小山重郎著，東海大学出版会，2000.
- 615||M「マラリア・蚊・水田：病気を減らし、生物多様性を守る開発を考える」茂木幹義著，海游舎，2006.
- 615||M「里のサルとつきあうには：野生動物の被害管理」室山泰之著，京都大学学術出版会，2003.
- 615||W「ニホンザルによる農作物被害と保護管理」渡邊邦夫著，東海大学出版会，2000.
- 616||M「田んぼの虫の言い分」NPO 法人むさしの里山研究会編，農山漁村文化協会
- 616||T「お米は生きている」富山和子著，講談社，1995.
- 647||W「カイガラムシが熱帯林を救う」渡辺弘之著，東海大学出版会，2003.
- 651||U「鎮守の森」上田篤編著，鹿島出版会
- 652||K「森の記憶：飛騨・荘川村六廩の森林史」小見山章著，京都大学学術出版会，2000.
- 653||A「綾の照葉樹林ガイド」綾の森を世界遺産にする会編，鈺脈社
- 653||F||C「微生物生態学への招待：森をめぐるミクロな世界」二井一禎ほか編，京都大学学術出版会，2012.
- 653||K「森の自然史：複雑系の生態学」菊喜喜八郎・甲山隆司編，北海道大学図書刊行会
- 653||M「森の芽生えの生態学」正木隆編，文一総合出版，2008.
- 653||N「森の不思議を解き明かす」日本生態学会編，文一総合出版，2008.
- 653||O「菌と世界の森林再生」小川真著，築地書館
- 653||O「失われ行く森の自然誌：熱帯林の記憶」大井徹著，東海大学出版会，1999.
- 653||S「水辺林の生態学」崎尾均，山本福壽編，東京大学出版会
- 653||T「森林の物質循環」堤利夫著，UP biology 67，東京大学出版会
- 653||T「ブナ林再生の応用生態学」寺澤和彦，小山浩正編，文一総合出版，2008.
- 653||V「マングローブと人間」マルタ・ヴァヌチ著；向後元彦，向後紀代美，鶴田幸一訳，岩波書店，2005.
- 653||W「樹木社会学」渡邊定元著，東京大学出版会
- 653||W「公園・神社の樹木：樹木の個性と日本の歴史」渡辺一夫著，築地書館
- 653||W「イタヤカエデはなぜ自ら幹を枯らすのか：樹木の個性と生き残り戦略」渡辺一夫著，築地書館
- 653||W「アセビは羊を中毒死させる：樹木の個性と生き残り戦略」渡辺一夫著，築地書館
- 654||F「森林微生物生態学」二井一禎・肘井直樹編著，朝倉書店，2000.
- 654||I「ファイアーエコロジー：火の生態学」飯泉茂編，東海大学出版会，1991.

- 654||K 「熊と向き合う」 栗栖浩司著, 創森社
- 654||M 「自然を守るとはどういうことか」 守山弘著, 農山漁村文化協会
- 654||S 「大台ヶ原の自然誌: 森の中のシカをめぐる生物間相互作用」 柴田叡弍, 日野輝明編著, 東海大学出版会, 2009.
- 654||T 「森は生きている」 富山和子著, 講談社, 1994.
- 654||Y 「シカと日本の森林」 依光良三編, 築地書館
- 656||S 「森林水文学: 森林の水のゆくえを科学する」 森林水文学編集委員会編, 森北出版, 2007.
- 656||T 「森林・水・土の保全: 湿润変動帯の水文地形学」 塚本良則著, 朝倉書店, 1998.
- 656||T 「水と土と森の科学」 谷誠著, 京都大学学術出版会, 2016.
- 662||N 「システムとしての「森-川-海」: 魚付林の視点から」 長崎福三著, 農山漁村文化協会
- 664||K 「イルカ: 小型鯨類の保全生物学」 粕谷俊雄著, 東京大学出版会, 2011.
- 664||K 「ウナギの保全生態学」 海部健三著, 鷺谷いづみコーディネーター, 共立出版, 2016.
- 664||T 「天然アユが育つ川」 高橋勇夫著, 築地書館
- 664||T 「ここまでわかったアユの本: 変化する川と鮎、天然アユはどこにいる?」 高橋勇夫・東健作著, 築地書館
- 666||T 「アユ学: アユの遺伝的多様性の利用と保全」 谷口順彦, 池田実著, 築地書館, 2009.
- 787||Y 「護るために殺す?: アフリカにおけるスポーツハンティングの「持続可能性」と地域社会」 安田章人著, 勁草書房, 2013.
- 914||S 「川と水田に囲まれた村: はるかなる心の自然」 関口晃一著, 制作同人社, 1997.